

# 3月の主な行事予定

月	日	曜	内 容	放課後 遊び
3月	1日	(日)	PTA親睦バレー	
	2日	(月)	児童朝会 委員会活動 図書ボランティア 安全指導日 ふれあい週間	○
	3日	(火)		○
	4日	(水)	音楽朝会 全校卒業式練習①	
	5日	(木)	お別れ給食 放課後鼓隊 スクールカウンセラー来校	○
	6日	(金)	6年生を送る会 1/2成人式(4年生) 保護者会(1・2・3年・あしたば 6校時 4・5・6年 放課後)	○
	7日	(土)		
	8日	(日)		
	9日	(月)	児童朝会(防災) クラブ活動	○
	10日	(火)	避難訓練 放課後鼓隊	○
	11日	(水)	音楽朝会 全校卒業式練習② スクールカウンセラー来校	○
	12日	(木)	放課後鼓隊 お別れスポーツ大会(5・6年)	○
	13日	(金)		○
	14日	(土)		
	15日	(日)		
	16日	(月)	児童朝会 全校卒業式練習③ 図書ボランティア 5時間授業	○
	17日	(火)	放課後鼓隊	○
	18日	(水)		
	19日	(木)	スクールカウンセラー来校	○
	20日	(金)		○
	21日	(土)	春分の日	
	22日	(日)		
	23日	(月)	卒業式予行(1・2校時) 卒業式前日準備(6校時 4・5年) 大掃除(5校時) 1・2・3・6年5時間授業	○
	24日	(火)	卒業式 4時間授業 ※給食なし	
	25日	(水)	修了式 離任式(5校時) ※給食終	
	26日	(木)	春季休業日始 羽黒スキー交流(~31日)	
	27日	(金)		
	28日	(土)		
	29日	(日)		
	30日	(月)		
	31日	(火)		

- 【生活指導目標】 進んで学校をきれいにしよう
- 【安全指導目標】 安全な生活をしよう
- 【保健指導目標】 自分の健康生活を振り返ろう 耳を大切にしよう
- 【給食指導目標】 自分の食生活を振り返ろう

## 【4月当初の予定】

- 4月3日(金) 前日準備 新5・6年生 10時までに 登校  
新2年 11時20分 登校
- 6日(月) 始業式 入学式
- 7日(火) 給食始 (新2年生以上)



# 学びの庭

No. 87 3月号  
平成27年3月2日  
新島村立新島小学校  
学校だより

## 最後に残るのは

校長 飯田 泰三

子供の頃、一日が長く、遠足や運動会があと数日であっても、待ち遠しく感じられました。クリスマスや正月、誕生日などは期日が分かっていたので、数ヶ月前から楽しみに、まるでずっとその日が来ないのではないかと思っていました。最近は一ヶ月はもろん一年もとても短く感じられるようになりました。この時間の感じ方の不思議は昔から多くの方が話題にしています。「子供と大人では時間の長さが実際に違うのだ。」と言い切る人さえいるほどです。このようなことですから、大人が子供に「あなたの将来のことを考えて今から準備をしておく必要があるかもしれません。」と言っても、子供はなかなかその感覚が理解できないものです。

社会の変化が速度を速めている時代に私たちは生きています。十年経つと職業の約半分が無くなっているだろうと予測している学者もいるそうです。このような状況で子供達は何を準備しておかなければならないのでしょうか。先日、サッカーアジアカップがオーストラリアで行われました。日本代表は残念ながらベストエイトで敗退してし

まいりました。準々決勝は延長戦にもつれ込み、日本チームの長友選手が足を痛めてしまい、攻守ともに劣勢に立たされた末の敗戦でした。しかし、私は「あそこで長友選手が足を痛めるからいけないんだ。」と批判する気持ちにはなれませんでした。長友選手は足を痛めるまで、懸命にプレーをしていました。元来の役割の守備で必死に相手のボールを奪ったかと思うと、味方がパスをしてくれなくても、相手ゴール近くまで全力で駆け上がることを何度も繰り返していました。この献身的なプレーによってチームに元気を与えていました。長友選手は身体が大きくありません。走るのがずば抜けて速いわけでもありません。それでも、代表チームで重要な位置を得ているのは、いつでも誠実なプレーで厚い信頼を監督やチームメイトから得ているからです。

これからの世の中ではコンピュータの技術が発達し、多くの職業をコンピュータが担うようになるのは間違いないでしょう。反対に人間だからこそできる新しい職業が生まれてくると思います。特別な才能に恵まれない人が職業を得ていくために、最後は誠実さが大事なのだらうと思います。誠実さは長友選手のように「根気よく続ける」「相手のことを本気で考えて行動する」「全力で取り組む」などの姿で示すしかないのだと思います。本校の子供達が、今後もし少しづつ誠実な態度を身に付けていき、社会で活躍できる人になれることを願っています。

今年度も、二十四日の卒業式、二十五日の修了式で幕を下ろします。皆様のご支援ご協力に感謝しております。ありがとうございました。今後も新島小学校の教育へのご理解ご協力をお願いいたします。

# 一年間を振り返り

## 「新島小学校」といふ船を旅立つとき 〜の一年間を振り返り〜

六年担任 藤原 友昭

いよいよ、卒業を間近に控える時期となりました。本学級の六年生の子供達は今、小学校生活最後の一年間を終えようとしている中、どんなことを考え、どんな思いを胸に抱いているのでしょうか。

六年生としての学校生活が始まった当初、本学級の保護者の方から、「小学六年生は、人生の中でもとても意味のある一年間なので、大切にしたい。」という言葉をいただきました。全くその通りであると、担任も思っています。考えてみれば小学六年生は、場合によっては、人生で一度しか体験できないことが、多くあるように思います。その一つが、「六学年にわたる学校のリーダー」としての行動です。たてわり班での異年齢集団の活動をはじめ、委員会、クラブ活動、各行事、そして日々の学校生活全般において、「最上級生」として行動してきました。本場に、よく頑張りました。まもなく行われる「六年生を送る会」では、各たてわり班の一〜五年生のメンバー全員から、感謝の気持ちが書かれた手紙を受け取ります。このような経験は、必ずしもすべての子どもが今後の人生の中でまた経験できるとは限らないのではないのでしょうか。自分が周りをまとめ、見本とされている、そして周りに必要とされている、という実感は、自己肯定感を高め、自分を高めていく原動力になります。

また、心と体も大きく成長し、自分の将来の可能性について思いを膨らませられるようになるのも、小学六年生であるとも思います。運動会、学芸会をはじめ、小学校生活最後の各

事や学校生活では、これまで以上に一人一人が個性を発揮できた一年間でした。その個性が、大人になった自分と、必ずどこかでつながっているということ、よく子供達には話していません。総合学習では、各自が「職業調べ」を行い、発表し、なぜその職業に興味を抱いたかを語り合いました。卒業という大きな節目があるからこそ、自分を見つめて立ち止まり、思いを膨らませられるのも、あるとも思います。立派な大人になった子供達と再会するのが、一層楽しみにしました。

さて、そんな激動の小学六年生を終えようとしている子供達ですが、「卒業は楽しみですか。」という質問に対し、「小学校を卒業したくない。」という答えがほとんどでした。小学校生活毎日が楽しく、時にはうまくいかないことがあっても、やっぱり六年間(三〜四年間という子もいますが、ほとんど六年間過ぎたのと同様なくらい)過ごした愛着のある学びの庭を旅立つのは、やはり寂しいようです。でも、思い出が大切であるのと同じくらい、未来も大切であると思います。そんなことを、子供達に語りかけています。

また、今年度は、あしたば学級としても、初めての卒業生を送り出します。本学級の子供達にとっては、あしたば学級発足とともに入学し、六年間一緒に学舎を共に過ごしてきた子供達にとっては、他の学級では決して学べない、そして一言では言い表すことのできない、多くのことを学んできたと思います。その六年間を価値づけ、これからの自分たちに生かす方向付けができるのも、今回の卒業であるとも思っています。

卒業を果たし、中学に進学しても、子供達は「同じ船」に乗って航海することには、きっとかわりはないと思います。よい船出ができるよう、残りの学校生活で精一杯頑張ってもらいたいと思います。そして、六年間見守ってくださった保護者、地域の皆様、大変ありがとうございました。

### あしたば学級

担任 福田和佳子 鶴岡潤一

今年の宿泊学習は、大島に行きました。三原山登山、つばき小学校との交流、レストラン学習など、個々の成長を実感できた二日間になりました。三年生は運動会ではじめての一輪車に挑戦しました。最初は座ることもできなかったのに、本番は三人とも友達と一緒に演技することができました。六年生は中学校にむけて、ボタンかけやズボンのホックかけ、洗髪や体洗いの練習を頑張りました。胸を張って、中学校に進学していったほしいです。卒業おめでとう！

### 一年生

担任 中村 優子

生活・学習どちらも、初めてのことばかりで、教えてもらうことが多かった一年生。けれども、今は、掃除、係、学習、遊び、様々な場面で、時にはアドバイスをし、時には褒め、励まし合いながら、自分たちで考え、自分たちの力で進んで行動しています。こんなに大きく成長した理由、それは、十三人がお互いの違いを温かい気持ちで認め、応援し、友達の素晴らしいところを吸収してきたからだと感じています。これからも、みんなで助け合い、成長していくことを期待しています。

### 二年生

担任 山本 幸恵

百六十の漢字、九九、おもちゃランド、一輪車など、様々なことに挑戦してきました。どの活動もよくがんばり、しっかりと身につけることができました。一年間で、体も心もびつくりするほど成長しました。パワフルで元気いっぱいな二年生の、これからの活躍も期待しています。

### 三年生

担任 上野 政治

この一年間、色々なことがありました。本当に楽しい一年間でした。行事としては遠足、地区音楽会、遠泳大会、運動会、子ども学芸会、学芸会、地区作品展をみんなで楽しんで取り組みました。三年生としては、何と言っても鼓隊と百人一首を頑張ったと思います。鼓隊は朝練に励み、中山先生も驚くほど上手になりました。百人一首は、ほぼ毎日二回取り組み、上の句を詠んだらさつと札を取れるほどの腕前になりました。できることがたくさんになった三年生。四年生になってもみんなでも明るく楽しく頑張ってください！

### 四年生

担任 小林 直哉

竹や天草を使って前例の無い活動に挑戦した「サマーキャンプ」。運動会の一輪車では、文字通り「二輪」になって回る事ができました。学芸会「新島桃太郎」では、舞台の設定を新島にして方言を取り入れたことで、たちまちやる気になりました。他にもゴミ処理施設や下水処理場を訪れ、新たな新島を発見することもできました。どんな活動をするときでも、「本気」になって取り組む姿が四年生の一番立派なところです。今週の二分の一人成人式でも、自分達の力を最大限発揮することを願っています。

### 五年生

担任 鈴木 隼人

「相手のことを考えた言動が増えた」、「お互いを高め合える雰囲気が出てきた」、「提出物への意識が変わった」などなど、五年生の変化を挙げようと思えばきりがありませんが、子供たちが一番実感した変化はなんだろう……。運動ができるようになったこと？ 漢字を覚えたこと？ 男女でもっと遊ぶようになったこと？ きっとみんなが成長できたのには、必死になって乗り越えた行事だったり、お楽しみ会だったり、新しい友達や先生との出会いだったり、いろいろなきっかけがあったと思います。あと一ヶ月で最高学年になるみんなには、大事な場面でシュートをきっちり決めるのもちろん、下級生をゴールへと導くスルーパスも出せる、そんな緑の下の力持ちの役割も期待しています。